令和 6 年度高齢者孤立防止事業(訪問)結果

令和7年3月 高齢福祉課 地域包括ケア推進係

1 事業概要

【目的】

- ・高齢者の孤立防止
- ・高齢者一人ひとりの状況把握に努め、必要な人に必要な情報やサービスを届ける

【実施内容】

対象者	医療や地域とのつながりのない可能性がある 75 歳以上の高齢者	
訪問期間	ⅠⅠ月~Ⅰ2月末	
訪問者	高齢福祉課職員	
実施方法	・訪問対象者には、事前に訪問日を記したお知らせを送付 ・平日の勤務時間内に訪問	

2 訪問結果

訪問対象者は 263 人で、そのうちの 109 人(全体の 41%)が2年連続して健康状態不明者として抽出された高齢者でした。新規に抽出された 151 人(※)を訪問したところ、「気軽に話せる人がいる」「頼れる人がいる」と回答された方が約 90%となり、令和5年度より若干減少したものの、多くの方が健康維持に取り組み、はつらつと生活されていることが分かりました。訪問後、サービスの利用を検討した方が良いと判断した2名の高齢者を包括支援センターに繋ぎました。

対象者数及び訪問結果は、下表のとおりです。

(1) 対象者 (単位:人)

	訪問対象者数(当初)					不在等	訪問
①	2年連続健康状態不明者 (R4.5年度健診等未受診者。要援護者等を除く)				0	-	希望制
2	健康状態不明者	75 歳以上の 高齢者世帯の世帯員	41		38	3	
3	※令和5年度健診等未受診者。要援	独居	31	154 (%)	27	4	原則 訪問
4	護者を除く	同居者がいる方	82		79	3	
	訪問対象者				144	10	

(2) 訪問結果

① 2年連続健康状態不明者

令和5年度健康状態不明者として抽出された310人のうち、令和6年度も健康状態不明者として抽出された方が109人いました。昨年度訪問実績があるため、今年度は希望者のみを訪問することとしましたが、希望者はいませんでした。

②~④ R6 年度新規に抽出された方

区分		訪問	うち	訪問	聞き取り方法			男女別内訳	
		対象者	不在	実績	対面	電話	web	男	女
2	75 歳以上の高齢者世帯の世帯員	39		38	27	11	0	11	27
3	独居	31	4	27	23	4	0	7	20
4	同居者がいる方	81	2	79	46	27	6	42	37
	合計(人)	151	7	144	96	42	6	60	84

※当初の対象者は 154 名。最終の訪問対象者は、訪問前に死亡、地域包括支援センターと関わりができた方3名を除き 151 名となった。

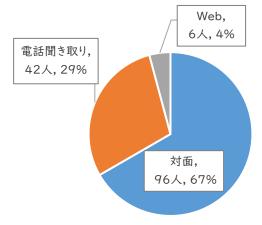


図1:聞き取り方法(全体·n=144)

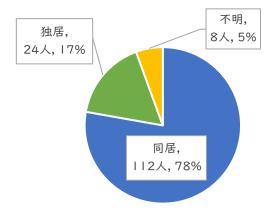


図2:家族構成(全体·n=144)

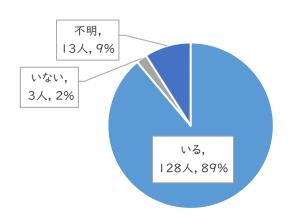


図3:気軽に話せる人の有無(全体·n=144)

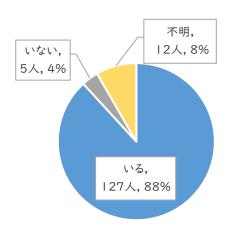


図4:頼れる人の有無(全体·n=144)

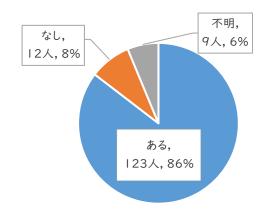


図5:外とのつながり(全体·n=144)

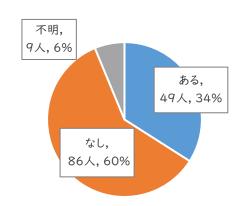


図7:かかりつけ医の有無(n=144)

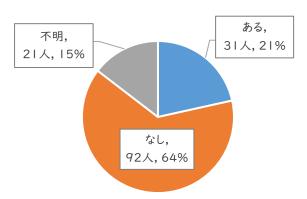


図8:かかりつけ歯科医の有(n=144)

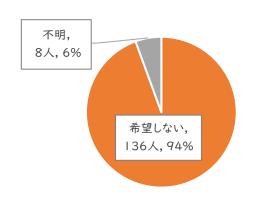


図10:民生委員·児童委員の見守り (n=144)

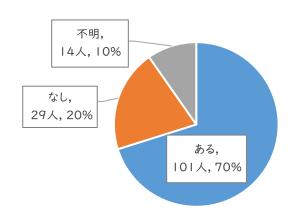
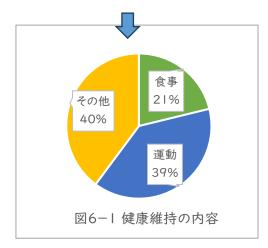


図6:健康維持のため心がけていること (全体·n=144)



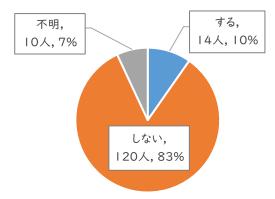


図9:健診の申込(n=144)

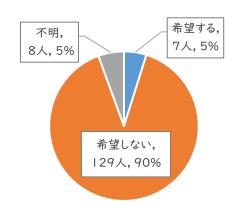


図 | |:包括への情報提供(n= | 44)

【訪問対象者からのご意見・ご要望など】

- ・車に乗れているうちは問題ないが、ゴミ出しに困る。今は車で山の上の集積所にもっていっている。
- ・隣3軒仲良くしている。新聞を取り込んでいるかで安否を確認し合っている。
- ・特に今のところ、不自由はなし。
- ・病院も歯医者も何十年も行っていない。健診も好きじゃない。私は健康、大丈夫。
- ・関節を痛めており、家事は夫がしてくれている。自分は骨折が怖いから、家にいることが多いが、日々 楽しくやっている。
- ・困ったことがあれば自分から市役所に電話をかけるから、今のところサポートは必要ない。
- ・住所は可児市にあるが別宅が市外にあり、行き来しながら生活している。
- ・転倒しないように階段の昇り降りは気を付けている。
- ・今回の市の職員の訪問がすごく楽しみだった。

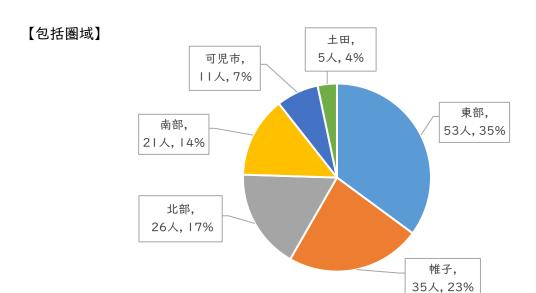


図12:各包括圏域の対象者数

